

目次

安全にお使いいただくための重要事項	2
アース取り付けに関するの指示	2
X-arm™概要	3
X-arm™仕様	4
認証と商標	4
X-arm™の取り付け	5
木製間柱の入った壁への取り付け	5
コンクリート壁への取り付け	6
木製間柱とコンクリートの両方でできている壁への取り付け	6
X-arm™を使用する	14
X-arm™にテレビ幅を設定する	14
テレビの位置に合わせる	14
ユニバーサルリモートコントロール	15
ホームオートメーション (RJ11/RS/232 port) で X-arm™を制御する	22
トラブル解決	23
X-arm™が動かない	23
テレビがX-arm™に合わない	27
テレビが通常の位置より前へ傾く(壁と平行でない)	27
メンテナンス	28
保証	28

安全にお使いいただくための重要事項(この説明書は大切に保管して下さい。)



警告: X-arm™をご使用になる時は、以下の基本的な予防措置を常に必ずお守り下さい。

- ・ X-arm™を使用する前に、使用の手引書を全てお読み下さい。
- ・ X-arm™が作動中は近づいたり、物を近づけたりしないで下さい。動いている部分に触れないで下さい。
- ・ 使用者はX-arm™が動作中である間は、リモコンの方向矢印を押してX-arm™が停止するまで目を離さないで下さい。
- ・ X-arm™を正しく取付ける為に、付属の取付説明書に従って下さい。事故防止の為、取付説明書に従って X-arm™を必ずしっかりと壁に固定して下さい。
- ・ X-arm™の作動幅はX-arm™側面の統制装置で設定テレビ幅に基づいて制限されます。テレビの画面の幅をX-arm™を操作する前に必ず正しく設定して下さい。
- ・ X-arm™取付用ブラケットは、最大重量81kgまでに使用できるよう作られています。81kgを超えるテレビへのご使用は、不安定になり事故のもとになる恐れがあります。
- ・ 事故の防止の為、お子様の近くでX-arm™を操作する時は、必ず十分に注意を払って下さい。
- ・ 付属品は製造元が販売する、または推奨するもののみをご使用下さい。カバーや安全装置を取り外した状態で、X-arm™を操作しないで下さい。
- ・ 屋外で使用しないで下さい。
- ・ X-arm™は垂直な壁のみに取り付けるよう設計されています。X-arm™を天井や垂直ではない壁には取り付けしないで下さい。
- ・ 電源を切るには、全ての調整用つまみを‘0’ (オフ)の位置にし、その後コンセントからプラグを抜いて下さい。
- ・ 電気コードを引っ張ってプラグを抜かないで下さい。差し込みプラグを抜く時はコードではなく差し込みプラグの部分を持って抜いてください。
- ・ 使用しない時、また点検や修理の前には、コンセントからプラグを抜いておいて下さい。
- ・ 電源コードやプラグに損傷のある場合、機器に不調があった後、X-arm™を落としたり、その他いかなる状況でも損傷した場合は、X-arm™を作動しないで下さい。お近くの認定されたサービス機関で点検、修理、電気系又は機械系の調整を受けて下さい。
- ・ 適切にアース線の取り付けられたコンセントにのみ接続して下さい。アース取り付けに関するの指示をお読み下さい。

アース取り付けに関するの指示

この機器には必ずアースを取り付けて下さい。アース線は機器の不調、故障の際に電流抵抗が最小の経路で電流を逃し、感電の危険性を低くします。

この機器は、メーカー製造のアース線付きコードとアース用プラグを備えています。プラグは必ず全ての地域規約と条例に従い正しく取り付け、接地されている適切なコンセントに差し込んで下さい。

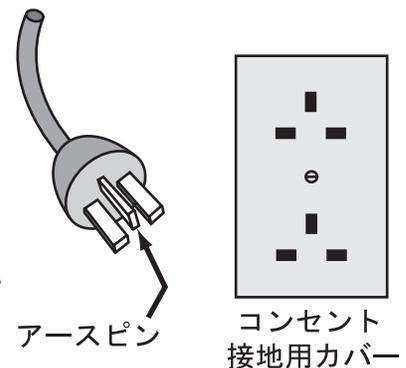
危険: アース線が正しく接地されていないと、感電の危険を招くことがあります。

アース線とは、外面が緑色または緑色に黄色のストライプのある導線です。アース端子に取り付けますが、無い場合は修理や取り替え(有料)が必要です。修理前にアース線を、通電している端子には接続しないで下さい。接地に関するの指示が完全に理解できない時、又は機器が適切に接地されているか心配な時は、販売店の電気技士に確認して下さい。

機器に備わっているプラグを改造しないで下さい。

プラグがコンセントに合わない場合は、販売店の電気技士に依頼し適切なコンセントを取り付けて下さい。

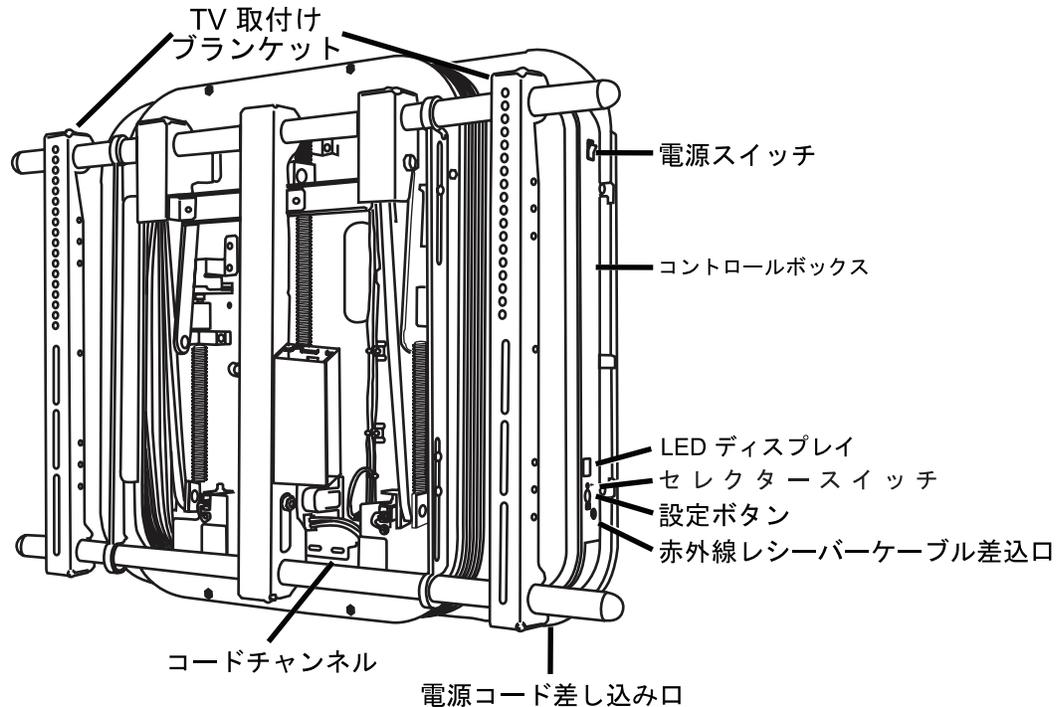
この機器の電源電圧は100V(ボルト)です。そして定格15A(アンペア)以上のコンセントに使用します。他の電気回路に使用するために再接続する必要がある場合は、資格を要する技士が行い全ての地域規約と条例に従って下さい。



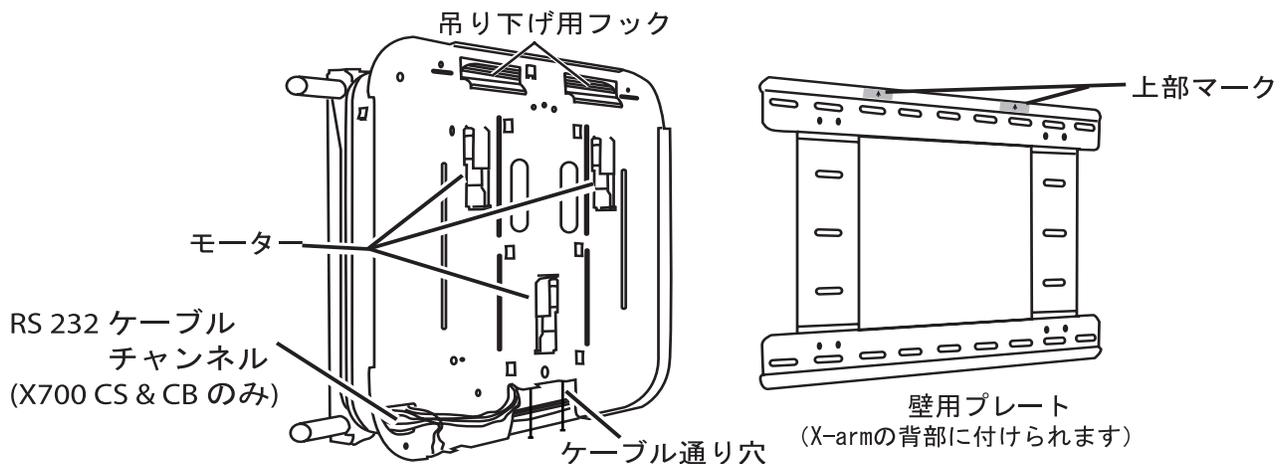
X-arm™概要

X-armの取付台は、40インチから63インチ(101.6cmから160cm)まで、重量180ポンド(81kg)までのほとんどのフラットパネルテレビに対応する動力化された取付台です。X-arm™はリモコンのボタン操作でテレビ画面を見やすい角度を合わせてくれます。収縮した状態では、テレビは壁から11.7 cm の位置になります。X-arm™を作動させると、テレビ画面を壁から約12 インチ(30.5 cm)滑らかな動きで離し、テレビを左右へ回転させたり上下へ傾けることができます。作動部と配線部分はすべてじゃばら内部に納められ、X-arm™が伸び、壁からテレビを押し出すので、すっきりと見えます。

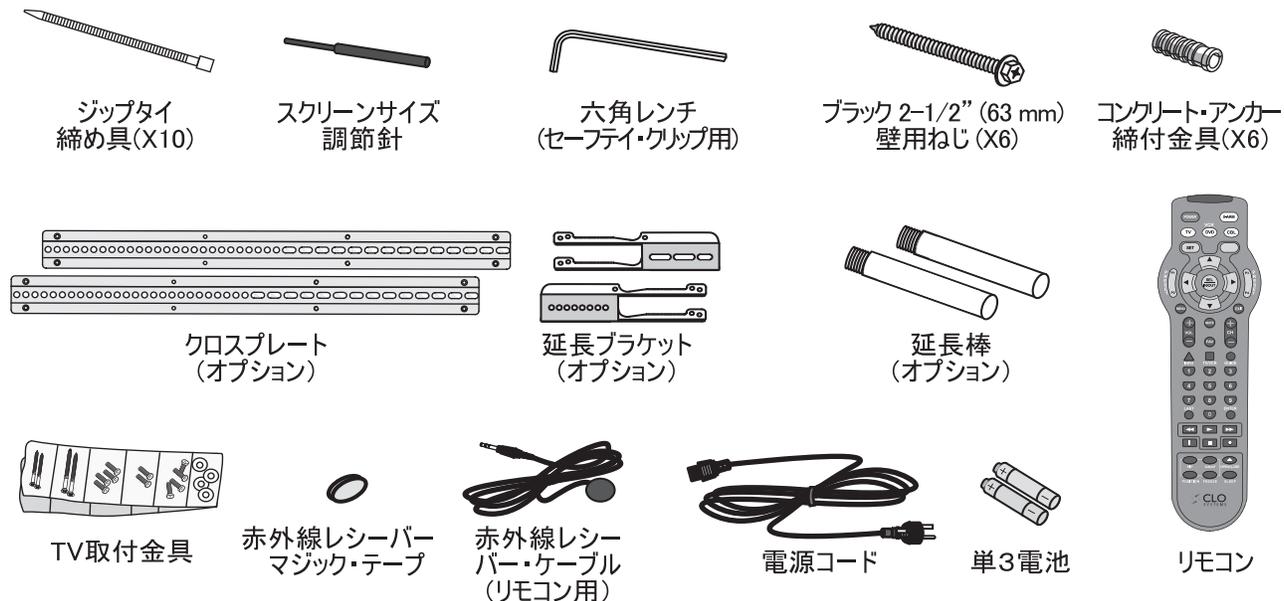
X-arm™(前)



X-arm™(後)



X-arm™付属品



X-arm™仕様



注意: X-arm™取付ブラケットは、最大重量と最大テレビ幅が以下の表示にあるもののみを使用できるよう作られています。表示されているものより重い製品やテレビ幅の広い製品に使用すると、取り付けが不安定になり事故の原因となる恐れがあります。

仕様	数値
TVの外幅に基づいた旋回、傾斜の最大幅	102 - 112 cm (40" - 44.9") : 7° 上, 20° 下, 28° 左, 右 (56° 合計) 113 - 122 cm (45" - 48.9") : 7° 上, 20° 下, 26° 左, 右 (52° 合計) 123 - 140 cm (49" - 55.9") : 7° 上, 20° 下, 23° 左, 右 (46° 合計) 141 - 155 cm (56" - 61.0") : 7° 上, 20° 下, 19° 左, 右 (38° 合計)
対応するテレビのサイズ	102 - 160 cm (40" - 63") テレビの外幅 > 155cm
全体のサイズ	31 1/2" (w) x 22 3/4" (h) x 4 1/2" (d) 80 cm (w) x 57,80 cm (h) x 11,43 cm (d)
最大重量制限	81 kg (180 lbs.)
壁からの最小伸び幅	11.7 cm + TV (4.6" + TV)
壁からの最大伸び幅	30.5 cm + TV (12" + TV)
重量	29.5 kg (65 lbs.)

認証と商標

CEマーク
(EU安全規格製品)



WEEE基準
(収集リサイクル・回収目
標をを定められた機器)



TUVマーク (USA)



TUVマーク (ヨーロッパ)

認証機関による製品の安全検査と継続的な生産管理が行われていることを証明するマーク

X-arm™を取り付ける

コンクリート壁へ取り付ける場合は、‘コンクリート壁への取り付け’の項へ進んでください。
木製間柱の入った壁への取り付けの説明は、以下に続きます。



水平器



プラスドライバー



3/8 (9.5mm)
レンチ



ソケットレンチ
(オプション)



粘着テープ



間柱探知機



ハンマー



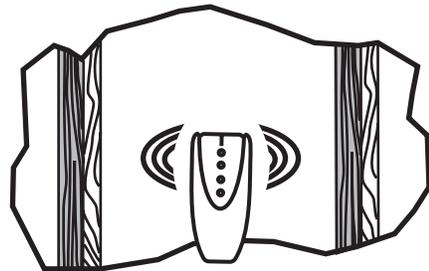
電気ドリル 1/8" (3mm)
(木製間柱の壁用)

コンクリートドリル
(コンクリート壁用)

木製間柱の入った壁への取り付け

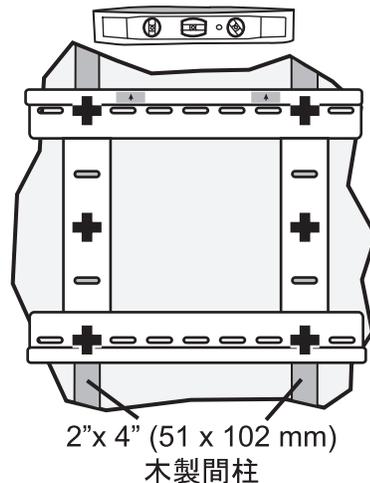
1. 壁の間柱を捜し出す

- 1-1. 間柱探知機(スタッドファインダー)を使って、2本の間柱の中心から中心までが43.18 cm以内の間柱を見つけます。
- 1-2. 壁に間柱の中心の印を付けます。建物への損傷や事故を防ぐため、取付台は必ず太さ最低51 mm x 102mmの2本の木製間柱に固定してください。



2. 取り付けの穴を開ける

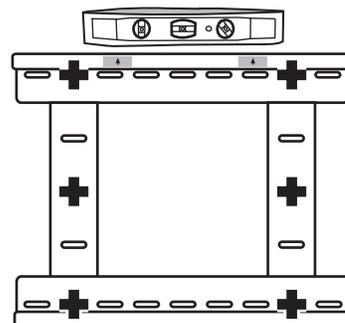
- 2-1. X-arm™裏側の壁用プレートの取り外しを行います。最初にX-arm™の下部に、表側から壁用プレートへ通っている2本の安全ねじを取り外します。それから壁用プレートを持ち上げてX-arm™から外します。
- 2-2. 壁用プレートを壁へ持ち上げて取り付けの穴を間柱に合わせます。
- 2-3. 壁用プレートを水平にします。
- 2-4. 壁の間柱に合わせて、壁用プレートの穴6ヶ所の印を付けます。
- 2-5. 壁用プレートを壁から下ろし、2-4の工程で付けた印に、3mmのドリルビットを使って深さ6.35 cmの穴を6ヶ所開けます。



コンクリート壁への取り付け

1. アンカーを取り付ける位置に印を付ける

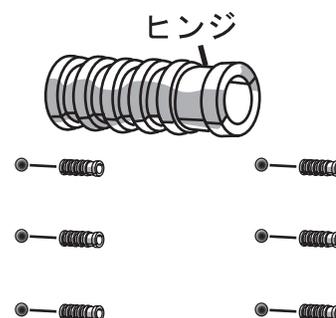
- 1-1. X-arm™裏側の壁用プレートの取り外しを行います。最初にX-arm™表側から壁用プレートに通っている2本の安全ねじを取り外します。それから壁用プレートを持ち上げてX-arm™から取り外します。
- 1-2. 壁用プレートを持ち上げ、X-arm™を取り付けたい壁の位置に合わせます。
- 1-3. 壁用プレートを水平にします。
- 1-4. 図に示されたように、6ヶ所の印を壁に付けます。穴と穴との間隔は出来る限り離してください。



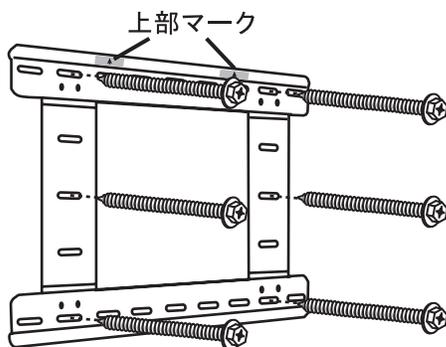
2. 6つのねじアンカーを取り付ける

- 2-1. 13 mm のコンクリート用ドリルビットを使って、1-4の工程で付けた印に 6.35 cm の深さの穴を6ヶ所開けます。
- 2-2. 図で示されたように、ヒンジ端が自分に対して手前に来るように6つのアンカーを取り付けます。

以下、木製間柱の場合もコンクリート壁の場合も取り付け手順は同様です。



3. 壁用プレートを掛ける

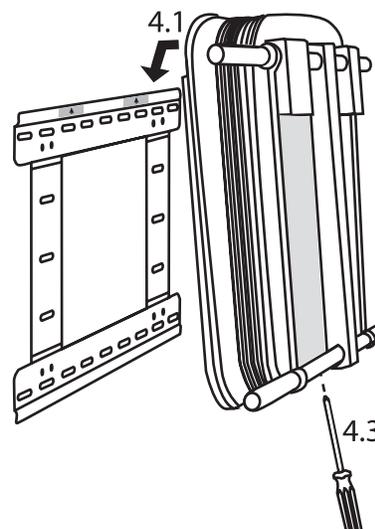


- 3-1. 付属の黒いボルト(6.35 cm)を6本全て使い、壁用プレートを壁に固定して下さい。

重要:
必ず白い矢印のステッカーがある方を上にし、6つのねじ穴がその下に来るようにして下さい。

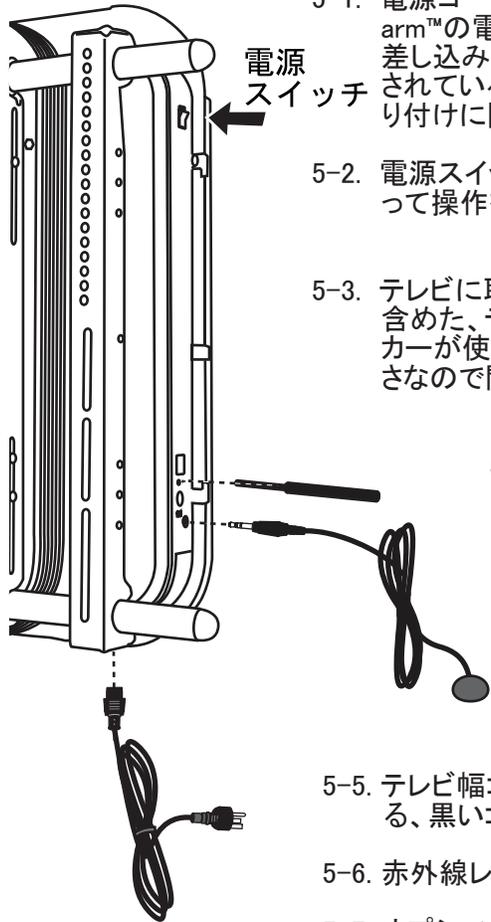
4. X-arm™を壁に取り付ける

- 4-1. 壁用プレートの上端にX-arm™を引っ掛けます。
- 4-2. 必要であれば、X-arm™が部屋の中心になるように、壁用プレート上でX-arm™を中心から左右どちらかの方向へ、3.81 cm くらいスライドさせてください。正しく取り付けられていれば、X-arm™の穴を通して壁用プレートのステッカーが見えます。
- 4-3. プラスドライバーを使って、2本の安全ねじをX-arm™ 下部にある横長の穴に通し、壁用プレートのねじ山の付いたねじ穴に留めます。



5. X-arm にテレビ幅を設定する

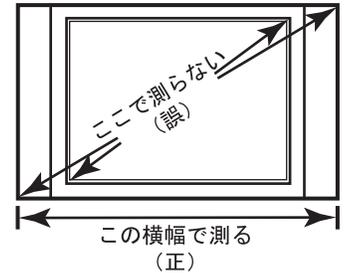
事故や建物の損傷を防ぐ為、X-arm™に正確なテレビ幅を設定することが大変重要です。X-arm™が作動する範囲は設定されているテレビの幅によって制限されます。



5-1. 電源コードを付け、X-arm™を接地されている電源コンセントに接続します。X-arm™の電源コードには、アース線とアース専用の差込プラグが付いています。差し込みプラグは必ず、全ての地域条約と条例に従って正しく取り付け、接地されている適切なコンセントに差し込んで下さい。この説明書 p.2の「アース取り付けに関する指示」をご覧ください。

5-2. 電源スイッチを‘1’（オン）に入れます。重要:この時点ではまだリモコンを使って操作をしないで下さい。

5-3. テレビに取り付けられているサイドスピーカー等も含めた、テレビ全体の横幅を測ります。(テレビメーカーが使用する画面サイズは、画面の対角線の長さなので間違わないで下さい。)



5-4. 付属のプラスチック棒をセレクタースイッチの穴に挿入し、下の表を参照し、取り付けるテレビの幅に合ったテレビ幅のコード(C1~C4)が表示されるまでボタンを押してください。

コード	テレビ外幅
C1	= 102 -112 cm / 40" - 44"
C2	= 113 -122 cm / 45" - 48"
C3	= 123 -140 cm / 49" - 55"
C4	= 141 -155 cm / 56" - 61"

5-5. テレビ幅コード(記号)の点滅が止まるまで、セレクタースイッチの穴の下にある、黒いゴム製の セット ボタンを押し続けて下さい。

5-6. 赤外線レシーバーを接続します。

5-7. オプション(X700CSとCBモデルのみ):RJ11/RS232 ポートを通して、ホームオートメーションでX-arm™を制御したい場合は、22 ページにある説明をご覧ください。

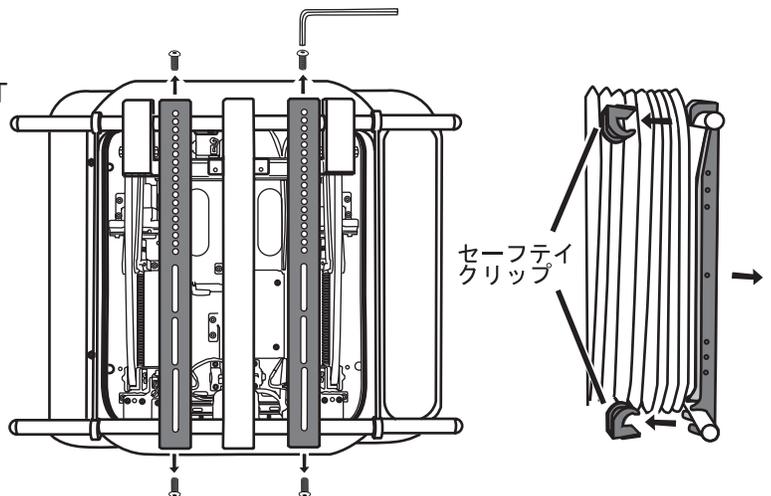
6. テレビ取付ブラケットを取り外す

6-1. リモコンを赤外線レシーバーに向け、X-arm ボタンを押し、次に SEL-IN/OUT ボタンを一度押し、X-arm™を壁から真っ直ぐに伸ばして下さい。

6-2. 付属の六角レンチで、テレビ取付ブラケットの端(4ヶ所)からねじ(中央が六角穴)を取り外して下さい。

6-3. テレビ取付ブラケットの裏側からセーフティクリップを引いて取り、それからテレビ取付ブラケットを取り外します。

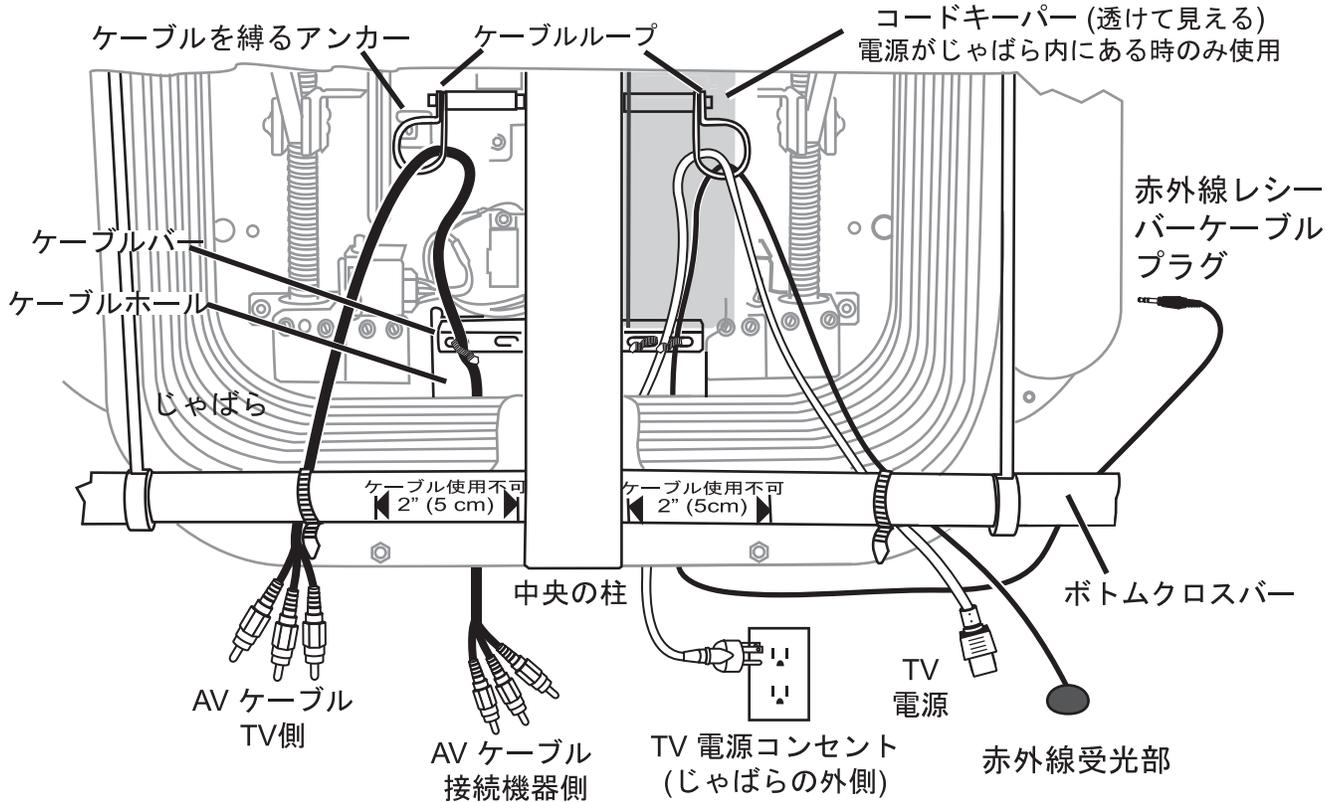
6-4. 取り外した部品はすべて大切に保管してください。



7. ケーブルと赤外線レシーバーケーブルを通す

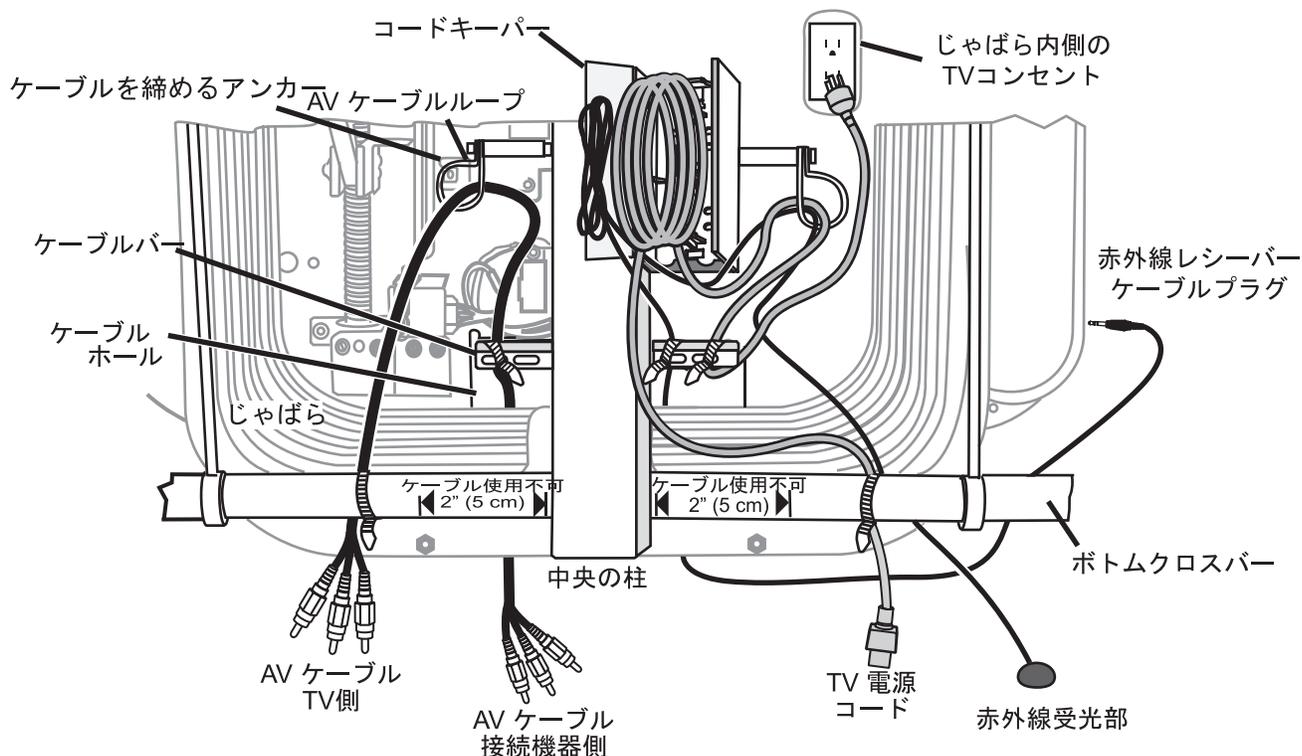
X-arm™は、配線、テレビの電源コードをじゃばらの中を通し壁に入るようにデザインされています。X-arm™が作動時の、電気系統のトラブル、混線を防ぐため、ケーブル整理機能を使って電源ケーブルとAVケーブルを分けてください。

テレビの電源コンセントがX-arm™のじゃばらの外にある場合は、以下の説明に従ってください。テレビとX-arm™への電源コンセントがじゃばら内にある場合は、9ページに進んでください。

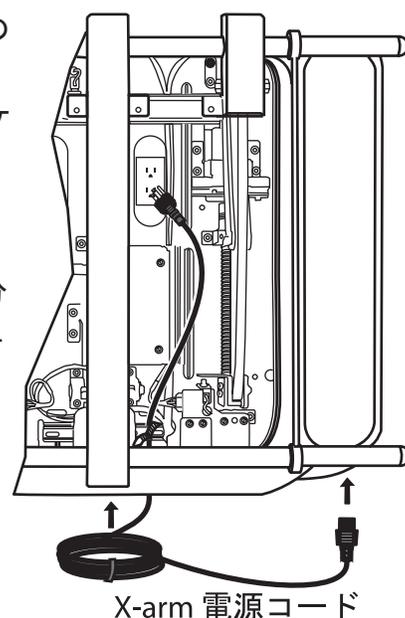


- 7-1. AVケーブルを、下側のクロスバーの下から通し、ケーブルループへ通してから下に引き、X-arm™の後ろにあるケーブル用の穴に通します。
- 7-2. 同じようにして、右側にテレビの電源ケーブルを通します。
- 7-3. 赤外線レシーバーケーブルのプラグを抜き、プラグ端をじゃばらとボトムクロスバーの間に下から上へ通します。ケーブルループに通してから、ケーブルを通す穴へと引きます。X-arm™側面に赤外線レシーバーケーブルのプラグを差し戻します。
- 7-4. AV・電源・赤外線レシーバーのコードは、機器に接続するために十分な長さが必要ですが、X-arm™の中の部品に引っかかる程長くしないで下さい。コードが適当な長さかどうか、上下・左右に傾けて確認してください。
- 7-5. 付属のジップタイを使って、ケーブルホール近くにあるケーブルバーに、ケーブルをまとめて留めます。
- 7-6. 付属のジップタイを使って、ケーブルがじゃばらとボトムクロスバーの間を通るように、ケーブルをボトムクロスバーに留めます。ケーブルは、少なくとも中央の柱から最低5cm離して下さい。余分なジップタイの端は切り落とします。

テレビとX-arm™への電源コンセントが、X-arm™のじゃばらの内側に位置する場合は、以下の説明に従ってください。

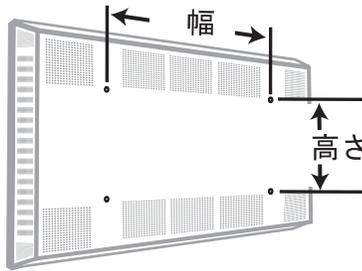


- 7-1. 左側にあるAVケーブルを、ボトムクロスバーの下から通し、ケーブルループへ通したら下方に引いて、X-arm™の裏側にあるケーブルホールに通します。
- 7-2. テレビの電源コードを、ボトムクロスバーとじゃばら端の間に通し、奥にあるケーブル・バーの下から右側のケーブル・ループに通します。そして電源コンセントの方へ引き上げます。図のように、余分なコードはコードキーパーの中に収めます。
- 7-3. 赤外線レシーバーのコードを、ボトムクロスバーとじゃばらの端との間に通し、右側のケーブルループへ通したら、じゃばらを通して下方のケーブルホールに通します。X-arm™側面のコントロールボックスに赤外線レシーバーケーブルのプラグを差し込みます。
- 7-4. コードキーパーを開け、余分なテレビ電源コードと赤外線レシーバーのコードを巻いてコードキーパーの中に収めたらカバーをします。
- 7-5. X-arm™の電源コードをX-arm™に差し込み、電源に差し込むプラグをケーブルホールに通し、上に引き上げて電源に差し込みます。余分なケーブルは巻いてジップ・タイで留めます。右の図のように、ケーブル・バーの近くのスペースにコードを収めます。別のジップ・タイでケーブルを留めます。
- 7-6. AV・電源・赤外線レシーバーケーブルは、機器に接続するために十分な長さが必要ですが、X-arm™の中の部品に引っかかる程長くしないで下さい。コードが適当な長さかどうか、上下・左右に傾けて確認して下さい。
- 7-7. 付属のジップタイを使って、ケーブルをまとめてX-arm™の裏側にあるケーブルバーに留めます。
- 7-8. ケーブルを、じゃばらとボトムクロスバーの間に通し、中央の柱から最低5cm離すように、ボトムクロスバーに留めて下さい。余分なジップタイは切り落とします。



8. X-arm™にアダプター(調節器)を取り付ける(オプション)

非標準的な穴の位置づけのテレビにX-arm™を合わせられるように、いくつかのアタッチメント(補正部品)を付け加える事が出来ます。
アダプターが必要かどうか見るために、テレビ裏側にある穴の間隔の幅と高さを測ってください。



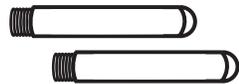
幅が66.0 cm - 87.6 cmであれば、バーエクステンションを取り付けてください。

幅が54.6 cm以下であれば、オプションのクロスプレートを取り付けてください。

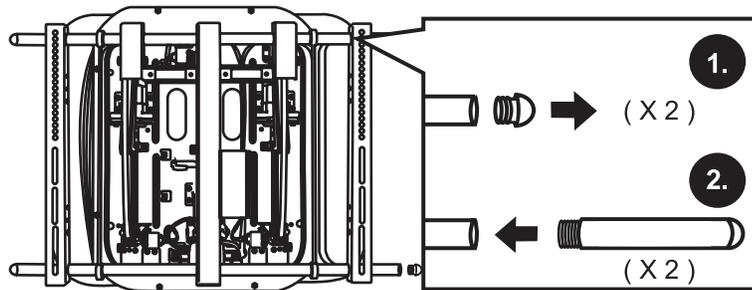
高さが47 cm-70 cmであれば、ブラケットエクステンションを取りつけてください。

以上の複数のケースに当てはまる場合は、複数のアダプターを取り付ける必要があることがあります。

バーエクステンション — テレビの穴から穴までの幅が66 cm 以上



クロスプレートは通常、X-arm™と一緒に出荷されないので、別注文が必要です。
部品を注文する際は、X-arm™を購入された業者か代理店にお問い合わせください。

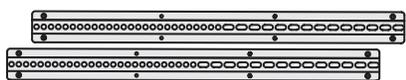


1. X-arm™クロスバーの右端から、2つのラバー ストッパーを取り外しそれらをバーエクステンションへ、ねじ入れます。

2. X-arm™クロスバーに、バーエクステンションがしっかり止まるまで回して締めます。

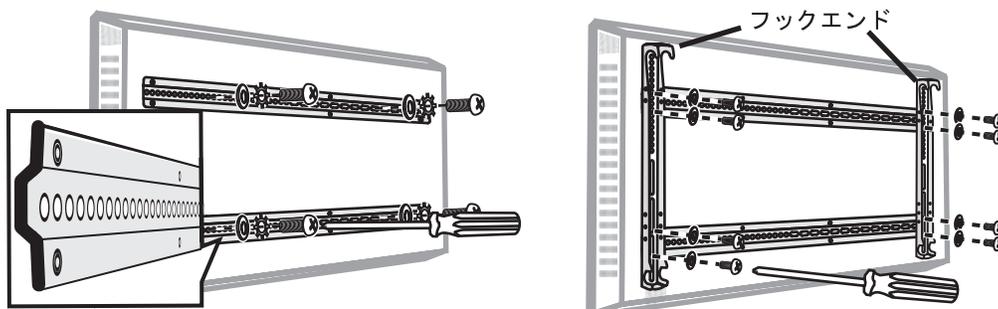
3. 2本のクロスバーを左右に十分差し込める分だけスライドさせられるように、上下のねじ(中央に六角穴がある)を弛めませず。クロスバーを中心に置いてから、ねじを締めなおして下さい。

クロスプレート — テレビの穴から穴までの幅が 54.6 cm 以上



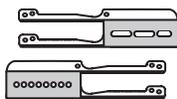
クロスプレートは通常、X-arm™と一緒に出荷されないので、別注文が必要です。部品を注文する際は、X-arm™を購入された業者か代理店にお問い合わせ下さい。

取り付け方



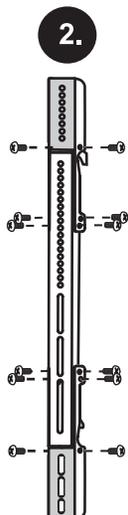
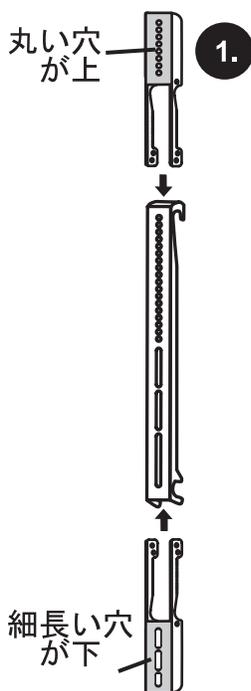
1. ワッシャーとロックワッシャーとボルトを使って、テレビの裏側に2本のクロスプレートを取り付けます。中央がテレビにぴったりと接しているか確認してください。
2. ブラケットをテレビに取り付けます。フックエンド側が上にあるか確認してください。

ブラケットエクステンション — テレビの穴から穴までの高さが 47 cm より高い

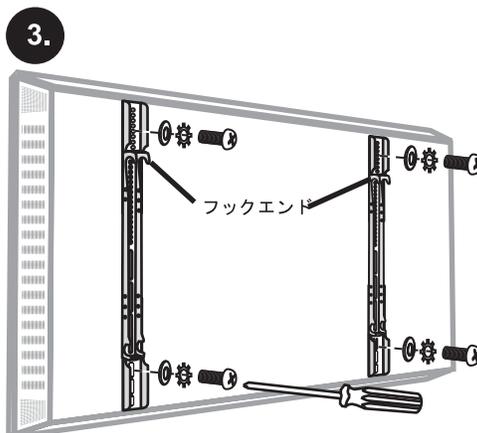


ブラケットエクステンションは、通常、X-arm™と一緒に出荷されないので別注文が必要です。部品を注文する際は、X-arm™を購入された業者か代理店にお問い合わせ下さい。

取り付け方



1. 丸い穴の開いているブラケットエクステンションを、テレビ取り付けブラケットの上部に並べます。細長い穴の開いているブラケットエクステンションを、細長い穴の開いている方のテレビ取り付けブラケットの下部に並べます。
2. 付属のねじで、テレビ取り付けブラケットにブラケットエクステンションを繋げます。
3. フックエンド側を上にして、ブラケットをテレビに取り付けて下さい。

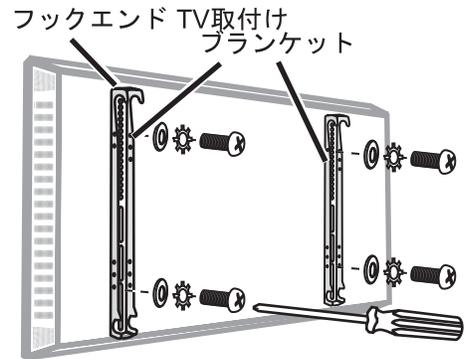


9. 取付ブラケットをテレビに取り付ける

9-1. テレビ取付ブラケットをテレビの上に置き、フックエンドが上に来るようにして、取付穴を合わせます。

9-2. ワッシャー、ロックワッシャー、ボルトを使い、テレビにしっかりとブラケットを取り付けます。お使いのテレビに付属していたボルトがあればそれを使用して下さい。なければ、ボルトを取り扱っている店で合う取付金具を選んでください。ボルトは必ずテレビ製造元が推奨するものをお使いください。それ以外のボルトは使用しないでください。

右図ではプラスドライバーが示されていますが、特殊なテレビのねじには、付属のねじのパックに入っている六角レンチが必要となります。

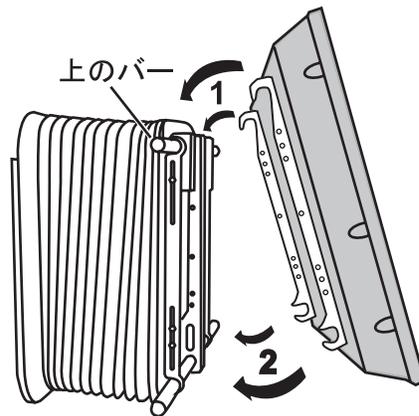


10. テレビをX-arm™に掛ける



注意: テレビはとても重いので、X-arm™に掛ける時は、少なくとも2人以上で行って下さい。

10-1. テレビをX-arm™の上のバーに掛けてから、慎重に下のバーに掛けてください。

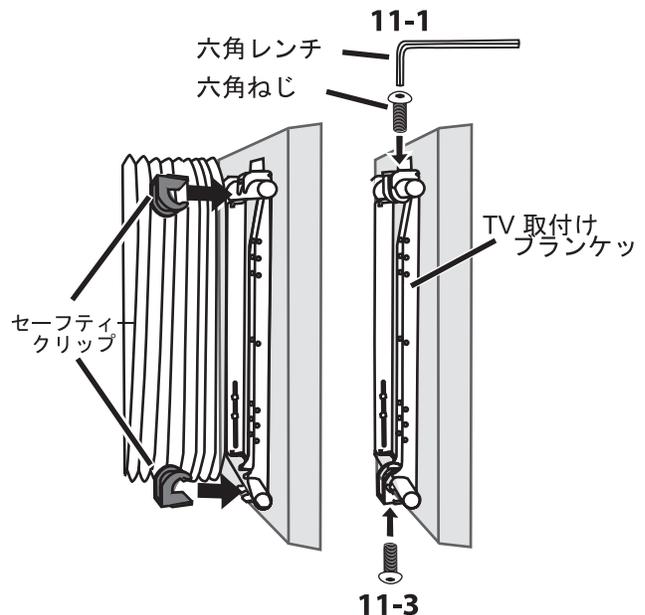


11. セーフティー・クリップを取り付ける

11-1. 2つのセーフティー・クリップをテレビ取付ブラケットの上部先端にはめ込み、付属の六角レンチを使ってしっかりと固定します。

11-2. ブラケットの上部を固定後、配線を内部に通す際は、二人で慎重に作業して下さい。

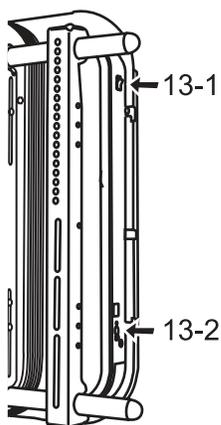
11-3. ケーブルを接続した後は、下のセーフティー・クリップをバーにしっかりと固定してください。



12. 赤外線レーザーをテレビに取り付ける

12-1. 付属のベルクロタブ(マジック・テープ)を使い、リモコンの照準範囲内に障害物がないようにして、赤外線受光部をテレビに付着させます。

13. X-arm™をテレビに対応させる



重要: テレビが壁にぶつからないよう、必ずX-arm™をテレビに対応させてください。

13-1. X-arm™のコントロールボックスにあるメイン電源スイッチをオフにします。

13-2. 電源をオンに切り替える間、コントロールボックスのセットボタンを押したままにします。ディスプレイがCTを表示するまで、セットボタンを5秒間押し続けてください。

13-3. X-arm™が前後、左右、そして上下の一連の調整を行う間、手を触れないで下さい。

13-4. X-arm™が調整を終えると、X-arm™は壁に対して定位置に戻ります。

13-5 定位置でテレビが壁に対して平行でなければ、定位置をセットし直すことができます。これを行うには、次のステップ14に進んでください。

14. X-arm™の定位置をセットし直す(必要な場合)

14-1. リモコンの SEL-IN/OUT ボタンを一度押して、X-arm™を壁に対して定位置へ動かします。

14-2. X-arm™のコントロールボックスの側面にある、セレクタースイッチの穴に付属のプラスチックポインター(プラスチック棒)を差し込んで、ディスプレイがHPを表示するまでボタンを押します。

14-3. リモコンの矢印キーを使って、テレビ画面がお好みの‘定位置’になるようにX-arm™を調整します。

14-4. X-arm™の側面のセットボタンを3秒間押します。

14-5. 以後、X-arm™は、SEL-IN/OUT ボタンを押すと、新しく設定した定位置にもどります。

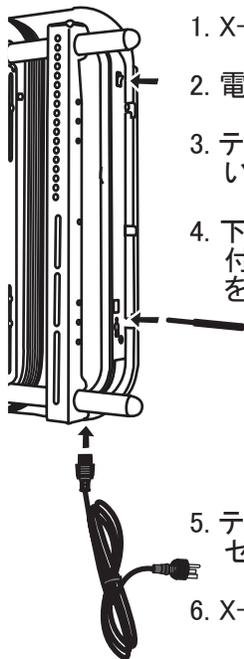
X-arm™を使用する

X-arm™にテレビ幅を設定する

注意:この説明書の取付けの項の5つのステップをされた方は、幅調節を再びしないで下さい。



警告: X-arm™は、使用者が選択したテレビ幅に基づいて作動幅が制限されます。テレビ幅は、X-arm™を作動させる前に必ず正確に設定しなければいけません。幅の設定が誤っていると、建物の損傷や事故の原因となる恐れがあります。



1. X-arm™の電源コンセントを差し込みます。
2. 電源スイッチを‘1’ (オン)に入れてください。
3. テレビに取り付けられているサイドスピーカー等も含めたテレビ全体の横幅を測って下さい。
4. 下の表を参照し、お使いのテレビの外幅と、テレビ幅コード(記号)の表示が一致するまで付属のプラスチックポインター(プラスチック棒)をセレクタースイッチの穴に挿入してボタンを押します。

コード	テレビ外幅
C1 = 102 -112 cm / 40" - 44"	
C2 = 113 -122 cm / 45" - 48"	
C3 = 123 -140 cm / 49" - 55"	
C4 = 141 -155 cm / 56" - 61"	

5. テレビ幅コード(記号)の点滅が止まるまで、セレクタースイッチの穴の下にある黒いゴムのセットボタンを押し続けます。
6. X-arm™は選択されたテレビ幅に基づいてテレビ画面の作動幅が制限されます。

テレビの位置を調整する



建物への損傷や人体への傷害を防ぐ為、X-arm™使用前に正確なテレビ幅を設定しておくことが重要です。正確なテレビ幅を設定する為には、上記‘X-arm™にテレビ幅を設定する’の項をご覧ください。X-arm™が作動中は、X-arm™から離れ、また物を近づけないで下さい。使用者はリモコンの方向矢印のいずれかを押しX-arm™を作動させている間、X-arm™が完全に停止するまで、目を離さず、よく注意を払って下さい。

1. X-armのプラグを差し込み、コントロールボックスの電源スイッチを‘1’ (オン)に入れます。
2. リモコン上で、最初に X-ARMボタンを押し、それからPOWERボタンを押します。X-arm™はこれで、リモコンからの統制信号(コントロールセンサー)を受信できる状態になります。
3. コントロールボックスにテレビ幅コード(記号)が表示されていなければ、リモコンのPOWERボタンを押してください。SEL-IN/OUT ボタンを一度押して、テレビ画面を壁から前方に出します。ボタンを押し続ける必要はありません。X-arm™がテレビを動かしている間に、矢印ボタンのいずれかを押しと動きが止まります。
4. リモコンの4つの矢印ボタンの1つを押すと、選択された方向にX-arm™が旋回、または傾き始めます。4つの矢印ボタンの一つ、または、SEL-IN/OUTボタンを押すとX-arm™の動きが止まります。
5. X-arm™を壁に対して収縮させたり、停止/定位置に戻すにはSEL-IN/OUTボタンを一度押します。
6. すでに、プリセットボタンが設定されていれば、(‘X-arm™のプリセットポジションボタンのプログラムをする’の項をご覧ください)P1, P2, P3又はP4のボタンを押せば、あらかじめプログラムされた位置に動きます。

ユニバーサルリモコン

ユニバーサルリモコンをプログラムすると、このリモコン一つでテレビ・ビデオ・DVD・CATVを操作することができます。リモコンのプログラムの仕方については、後に続く説明をご覧ください。

POWER 選択した機器(デバイス)の電源を入/切します。

TV プログラム設定後は、お使いのテレビが選択されています。

SET (P1 SET or P2 SET) 現在のX-arm™の位置を、プリセットポジションとして設定します。

P1 X-arm™をプリセット1に設定してある位置に移動させます。

P2 X-arm™をプリセット2に設定してある位置に移動させます。

矢印ボタン X-arm™モードで、ボタンの方向へテレビを傾けます。他のモードではスクリーン上のメニューを操作します。

MENU 選択されている機器(デバイス)のセットアップメニューを開きます。

VOL 音量を調節します。

MUTE 選択された機器(デバイス)の音を消します。

INFO 現在の映像・設定状況の情報を表示します。

LAST 前回選択したチャンネルに戻ります。

Rewind 現在入っているビデオを巻き戻します。

Pause 現在再生中の映像を一時停止します。

PIP 視聴中の映像画面の一部に別のチャンネルの映像を表示します。

POSITION TVモードではPIPウインドウの位置を変えます。CBLモードではページを下に下ろします。

Stop 現在再生中の映像を停止します。

DVD/VCR, プログラム設定後は、お使いのビデオ/DVDが選択されます。

X-ARM X-arm™が選択されます。

CBL, プログラム設定後は、お使いのケーブルテレビチューナーが選択されています。

P3 X-arm™をプリセット3に設定してある位置に移動させます。(X700CSとCBのみ)

P4 X-arm™をプリセット4に設定してある位置に移動させます。(X700CSとCBのみ)

SEL-IN/OUT, X-arm™モードで、X-arm™を定位置に戻します。他のモードではオプションを選択、設定します。

EXIT 現在のメニューを終了します。

CH 次/前のチャンネル又はチャプターに切り替えます。

FAV CBLモード中、プログラムされたお気に入りチャンネルに移行切り替えます。

TV/VCR 選択されたデバイスで利用可能なテレビとビデオの映像を切り替えます。

GUIDE CBLモードでガイドを表示し、TVモードでは字幕を表示します。

数字ボタン チャンネルの選択や数字の入力をします。

ENTER 現在ハイライトされている選択肢を選びます。

Fast Forward 現在入っているビデオを早送りします。

Play 現在入っているメディアを再生します。

Record 録画を開始します。

OPEN/CLOSE 選択された機器(デバイス)のメディアトレイを開閉します。

SLEEP 選択されたデバイスを、休止/低節電状態にします。

SWAP PIPウインドウの映像と背景の映像を交換します。

FREEZE TVモードではPIPウインドウを一時停止、DVDモードではセットアップメニューを表示、VCRモードではテープスピードを表示、CBLモードではページを上上げます。

ユニバーサルリモコンをプログラムする

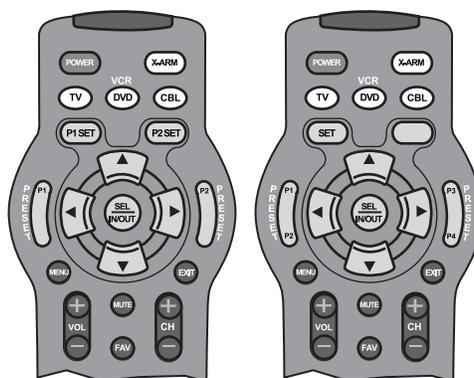
ユニバーサルリモコンのプログラム設定をすると、X-arm™に加え、設定した、テレビ・ビデオ・DVD・CA TVを操作することができます。また、プリセット・ボタンを設定すると、ボタン一押しでX-arm™を、お気に入りの位置まで動かせます。

X-arm™のプリセットポジションボタンをプログラムする



建物への損傷や人体への傷害を防ぐため、X-arm™使用前にテレビ幅を正しく設定しておくことが大切です。X-arm™が作動中は、X-arm™から離れ、また、物を近づけないで下さい。

1. X-arm™の差し込みプラグをコンセントに挿し、X-arm™の右側面にあるコントロールボックスの電源ボタンを押して、電源を入れます。
2. リモコン上で、最初にX-ARMボタンを、次にPOWERボタンを押します。
3. X-arm™をあらかじめセットしておきたい位置まで動かして下さい。
4. SETを1回押します。
5. 設定したいボタンの番号(P1, P2, P3又はP4)を押します。
6. X-arm™を、次にプリセットしておきたい位置まで動かします。
7. a. b. のステップを繰り返して下さい。

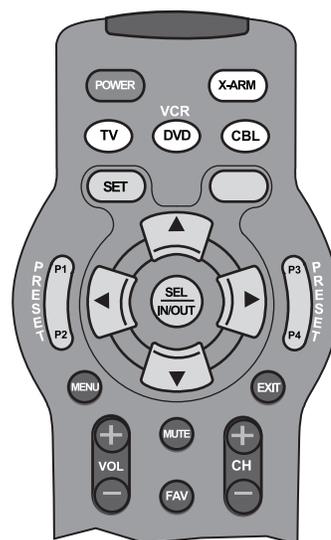


リモコンでお使いの他のデバイス(機器)を操作できるようプログラムする

テレビをプログラムする

ユニバーサル・リモコンで、お使いのテレビを操作できるようにプログラムするには:

1. テレビの電源を入れます。
2. リモコンのTVボタンが点灯するまで、TVボタンとSEL-IN/OUTボタンを同時に押します。
3. リモコンをテレビに向けている間、次のページのコードリストを参照してお使いのテレビメーカーの3桁のコードを入力します。テレビの電源が切れるまで、コードを入力し続けてください。それからステップ4に進んで下さい。
4. SEL-IN/OUTボタンを押します。TVボタンのライトが3回点滅して消えます。
5. リモコンでテレビが適切に操作できるかどうか、テストしてください。もし適切に操作できなければ、2~5のステップを繰り返してください。



TV メーカー	コード	TV メーカー	コード
Admiral	220 160 081 072	Emerson	245 155 154 143 096 076 051 048 047 043 028 005 004 001
Advent	231	Fisher	057 007
*Aiwa	213	*Fujitsu	244
Akai	146 001	Funai	245 043 028
Amark	143	Funai	245 043 028
Ampro	073	Futuretech	043
Amstrad	052	Gateway	041 202
Anam	242 131 080 056 043	GE	220 165 160 155 144 074 073 056 034 009 008 004 001
Aoc	058 004 001	Gradiente	218
Apex	247	Haier	203
Audiovox	076	Hallmark	004
Blaupunkt	088	*Hitachi	143 075 072 023 012 011 010 009 004
Broksonic	241	Infinity	249 164
Cairn	201	JBL	249 164
Candel	004 003 002 001	JCPenney	160 143 101 065 030 024 009 008 004 001
Capehart	058	Jensen	013
Cetronic	043	*JVC	237 230 145 083 070 038 034
*Citizen	143 103 101 043 004 003 002 001	KEC	043
Classic	043	*Kenwood	070 001
Concerto	004	Kloss	059 002
Contec	051 043	KMC	143
Cornea System	246	KTV	250 154 143 043 001
Coronado	143	LG (Goldstar)	143 127 119 106 004
Craig	043	Lodgenet	072
Crown	143 043	Loewe	249
Curtis Mathes	143 101 004 001	Logik	072
CXC	043	LXI	249 164 160 081 052 015 007
Daewoo	143 127 125 114 103 076 043 027 016 004	Magnovox	249 205 223 222 216 210 164 160 127 094 064 063 060 059 022 004 003 001 218 219
Daytron	143 004	Marantz	249 164 001
Dell	036	Matsui	164
Dwin	177	Memorex	096 072 007 004
Dynasty	043	Metz	088
Dynatech	062	MGA	042 028 024 004 001
Eiki	187	Minerva	088
Electrohome	196 143 076 024	Mitsubishi	225 146 124 109 042 040 031 028 021 024 004

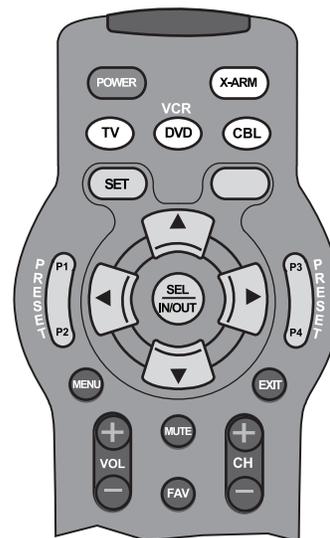
*日本TVメーカー

TV メーカー	コード	TV メーカー	コード
*Mitsubishi	225 146 124 109 042 040 031 028 021 024 004	Siemens	088
Motorola	217	Signature	072
MTC	101 062 004 001	*Sony	194 147 139 070
Nad	025 015	Soundesign	043 028 004 003
*NEC	056 040 024 019 016 001	SSS	043 004
Nikei	043	Supremacy	002
Olevia	045	Sylvania	249 245 240 229 226 211 164 160 127 064 063 060 059 003
Onking	043	Symphonic	245
Omwa	043	Tandy	081
Optonica	081 019	Tatung	062 056
Orion	096	Technics	080 034
*Panasonic	250 249 238 227 164 080 056 034 017 033	Techwood	004
Philco	164 064 063 060 059 056 024 004 003 001	Teknika	43 101 072 043 028 024 004 003 002
Philips	249 205 164 127 093 059 038 005 004 003 001	Telefunken	037
Pioneer	135 025 023 018 001	Telerent	072
Portland	143 004	Tera	172
Proscan	197 165 220 160 144	Thomas	245
Proton	173 171 143 131 058 004	TMK	004
Quasar	250 056 044 034 017	*Toshiba	232 138 101 062 040 032 030 015 007
Radio Shack	143 127 043 019 004	Totevision	143
RCA	228 220 165 160 152 144 074 065 056 024 023 004 001	Universal	009 008
Realistic	047 043 019 007	Video Concepts	146
Roctec	186	Vidikron	184
Runco	182 168 073	Vidtech	004
Sampo	202 058 004 001	Visio	100
Samsung	251 248 209 160 143 127 105 101 089 026 004	Wards	249 164 143 074 072 064 063 060 034 028 019 009 008 004
*Sanyo	082 057 053 020 007	Westinghouse	245 076
Sceptre	035	*Yamaha	004 001
Scott	143 048 043 028 004	York	004
Sears	165 160 143 094 082 057 030 028 015 007 004	Yupiteru	043
*Sharp	207 170 143 081 029 028 022	Zenith	103 095 073 072

*日本TVメーカー

DVDプレーヤーをプログラムする
ユニバーサルリモコンでお使いのDVDプレーヤーを操作できるようにするには:

1. DVDプレーヤーの電源を入れます。
2. リモコンのDVDボタンが点灯するまで、DVDボタンとSEL-IN/OUTボタンを同時に押します。
3. リモコンをDVDプレーヤーに向けながら、下のコードリストを参照してお使いのDVDメーカーの3桁のコードを入力します。DVDプレーヤーの電源が切れるまで、コードを入力し続けてください。それからステップ4に進んでください。
4. SEL-IN/OUTボタンを押します。DVDボタンが3回点滅して消えます。
5. リモコンでDVDプレーヤーを適切に操作できるかどうかテストして下さい。もし適切に操作できなければ2~5のステップを繰り返して下さい。



DVD メーカー	コード	メーカー	コード
Apex Digital	153 220	Nad	221
Broksonic	017	Onkyo	233 001
Cyberhome	165 020 004	*Panasonic	234 228 167 152 149
Daewoo	193 171	Philips	237 166 168 016 007
Denon	240 226	*Pioneer	230 229 189 015
Emerson	158 150 148	Proceed	219
GE	243 231	Proscan	231 229
Go Video	014 160 002	RCA	243 231 170 019
Gradiente	201 192	Samsung	248 161 013 005
Harman Kardon	225 218 173	Sansui	017
Humax	190 191	*Sanyo	006
*JVC	238 012	*Sharp	222 202
*Kenwood	224	*Sony	244 232 204 169 003 009
KLH	223	Sylvania	172 150
LG (GoldStar)	249 247 241 235	Thompson	243 231
Lite On	021	TIVO	191
Magnavox	237 163 168 016	*Toshiba	250 245 233 190 194 151 011 018
Marantz	168	*Yamaha	246 234
Memorex	008	Zenith	247 241 235 014
*Mitsubishi	227		

*日本TVメーカー

VCR(ビデオ)をプログラムする

VCRボタンはDVDボタンと兼用で、リモコンのボタンにはDVDと表示され、ボタンの上にVCRと併記されているのでご注意ください。ユニバーサルリモコンで、お使いのVCR(ビデオ)を操作できるようにプログラムするには:

1. VCR(ビデオ)の電源を入れます
2. リモコンのVCR (DVD) ボタンが点灯するまで、VCR (DVD)ボタンとSEL-IN/OUTボタンを同時に押します。
3. リモコンをVCR(ビデオ)に向けながら、下のコードリストを参照してお使いのVCRメーカーの3桁のコードを入力します。VCR(ビデオ)の電源が切れるまで、コードを入力し続けて下さい。それから次のステップ4に進んで下さい。
4. SEL-IN/OUTボタンを押します。VCR(DVD)ボタンが3回点滅して消えます。
5. リモコンでVCR(ビデオ)が適切に操作できるかどうかテストして下さい。もし適切に操作できなければ、2~5のステップを繰り返して下さい。* 進んでください。

VCR メーカー	コード	VCR メーカー	コード	VCR メーカー	コード
*Aiwa	461 334	Magin	404	Salora	314
Akai	446 425 424 346 343 316	Magnavox	464 456 445 367 334	Samsung	508 468 425 412 409 407 404 445 332
Ampro	372	Marantz	445 369 367 312	Sansui	435 348 343
Anam	445	Marta	406	*Sanyo	404 314 310 307 301
Audio Dynamics	343 339 312	Matsui	330	Scott	431 429 412 337
Bloksonic	429 337	Mei	445	Sears	412 406 320 314 310 309 308 301
*Canon	445	Memorex	445 439 406 372 353 334 314 310 301	*Sharp	515 465 459 445 353
Capehart	408	MGA	359 346	Shintom	324
Craig	435 404 301	*Minolta	501	Signature	334
Curtis Mathes	445 341	MTC	404 334	*Sony	512 506 454 453 445 378 376 358 357 356 353 352 301
Daewoo	417 412 411 408 310 307 305	Multitech	334 324	Soundesign	34
Daytron	408	*NEC	348 343 339 312	STS	320
DBX	343 339 312	Nordmende	343	Sylvania	520 519 518 445 367 359 334
Dynatech	353 334	Optonica	353	Symphonic	334
Electrohome	359	Orion	325	Tandy	334 310
Emerson	467 431 429 417 406 445 346 337 336 334 325 306	*Panasonic	511 502 445 374 370	Tatung	343 339
Fisher	310 309 308 301	Pentax	445 320	TEAC	343 339 334
Funia	334	Philco	445 367 334	Technics	445 370
GE	447 444 409 407 445 372	Philips	406 445	Teknika	406 445 334 319
Go Video	468 455 436 432 404	Pilot	406	Thomas	334
Harman Kardon	346 312	*Pioneer	348 321 320	TMK	306
*Hitachi	460 343 334 326 320	Portland	408	*Toshiba	521 431 413 412 382 359 347 320 308
Instant Replay	445	Proscan	505 504	Totevision	406 404
JCL	445	Pulsar	372	Unitech	404
JCPenney	406 404 445 320	Quartz	341 302	Vector Research	312
Jensen	343	Quasar	445	*Victor	348
*JVC	452 430 445 360 348 312	Radio Shack	423	Video Concepts	346 334 312
*Kenwood	348 347 334 314	RCA	509 458 447 445 444 409 407 404 341 334 320	Videosonic	404
LG (GoldStar)	423 414 406 320 312	Realistic	406 404 445 353 334 314 310 308 301	Wards	431 404 445 353 324 320 301
Lloyd	334	RICO	358	*Yamaha	343 339 334 312
LXI	406 334 309 301	Runco	448	Zenith	467 406 380 372 358 356 348 334

ケーブルテレビチューナーをプログラムする

ユニバーサルリモコンでお使いのケーブルテレビチューナーを操作できるようにプログラムするには:

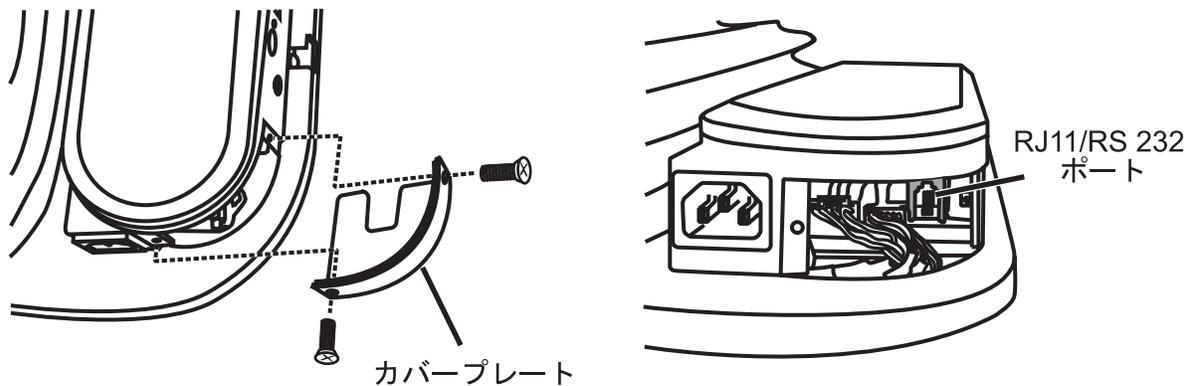
1. ケーブルテレビチューナーの電源を入れます。
2. リモコンのCBLボタンが点灯するまで、CBLボタンとSEL-IN/OUTボタンを同時に押します。
3. リモコンをケーブルテレビチューナーに向けながら、下のコードリストを参照してお使いのケーブルテレビチューナーメーカーの3桁のコードを入力します。ケーブルテレビチューナーの電源が切れるまで、コードを入力し続けて下さい。それからステップ4に進んで下さい。
4. SEL-IN/OUTボタンを押します。CBLボタンが3回点滅して消えます。
5. リモコンでケーブルテレビチューナーが適切に操作できるかどうかテストして下さい。適切に操作できなければ2~5のステップを繰り返してください。

メーカー	コード	メーカー	コード	メーカー	コード
ABC	205 200 103 039 004	*Hitachi	103	Regency	057
Amricast	099	Jerrold	231 201 200 101 069 004 001 103	Samsung	030
Antronit	014	Magnavox	095 094	Scientific Atlanta	231 205 200 118 117 110 042 037 034 011 008 001
Archer	014 007	Media One	017	Signal	030
Bell South	099	Memorex	008	Signature	103
Centurion	092	Mitsubishi	102	SL Marx	030
Century	007	M-Net	204	*Sony	214 213 212 211
*Citizen	007	Motorola	001 002	Starcom	231 201 004
Combano	081 080	Movie Time	032	Stargate	201 104 030
Consat	001	Novaplex	092	Tadiran	030
Comtronics	030	NSC	038	Time Warner	231
Digicable	206	Oak	204 037	Tocom	056 039 003
Eagle	003 030 020	*Panasonic	047 044	*Toshiba	008
Eastern	066 057	Paragon	008	Unika	014 007
Echostar	106	Philips	095 085 020 017	United Cable	004
Electricord	032	*Pioneer	203 231 121 105 034 103	Universal	035 032 014 007
Gemini	201 054	Prucer	078 047	Viewstar	089 087 086 020 018
General Electric	072	PTS	202 001	Zenith	093 060 008
General Instrument	104 001 103	Pulsar	008		
GNC	099	RCA	047		
Golden Channel	030	Reconton	098		
Hamlin	049	Regal	049		

*日本TVメーカー

ホームオートメーション (RJ11/RS232 port) で X-arm™ を制御する

Crestron, AMX, 製などのホームオートメーションのリモコンやコントロールパネルを通して、X-arm™ を制御することができます。これを行うには、以下に従ってください。



1. プラスドライバーを使い、コントロールボックスの右下にあるカバープレートからねじを2本とも外します。
2. カバープレートを外して RS232 ポートが見えるようにします。
3. ホームオートメーション販売元のウェブサイトより、RS232 プログラムをダウンロードしてください。
4. X-arm™ のバックプレートの後ろの穴からコードを通して出している、X-arm™ の RS232 ポートにホームオートメーションコントロールを差し込みます。
5. ホームオートメーション販売元の説明書に従ってください。

トラブル解決

故障かな？と思ったら

X-arm™が動かない

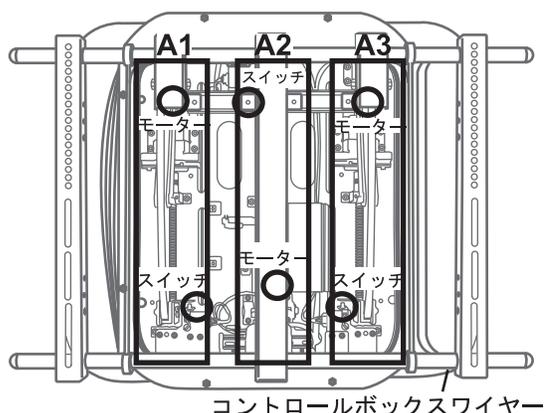
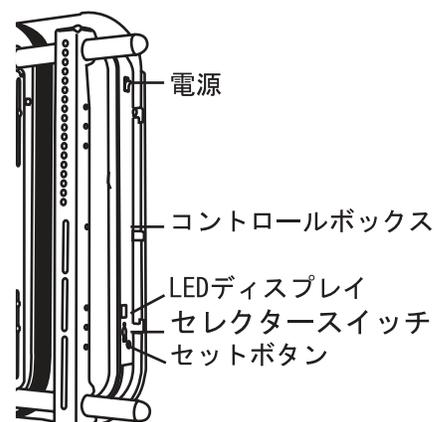
X-arm™がうまく動かない場合、まずX-arm™側面のコントロール・ボックスのLED表示を見てください。表示されているコードに基づいて、対処法を選びます。

コントロールボックスに‘A1’ ‘A2’ 又は ‘A3’ と表示されている場合
考えられる原因：

- ・ モーターケーブルのどれかが繋がれていない。
- ・ 停止センサーのどれかが繋がれていない、きちんと並んでいない、又は壊れている。
- ・ 長いねじのどれかが汚れている。
- ・ モーターの接続が緩んでいる。

直し方：

1. X-arm™のプラグを少なくとも10秒間、電源から抜きます。
2. テレビとX-arm™が、壁や他の物に当たったり、引っかかっていないか調べます。
3. X-arm™の電源プラグを差し、電源をオンにしてリモコンを使ってX-arm™を動かしてみます。これで正常に作動したら、ステップ4には進まないでください。
4. X-arm™の電源を入れた状態で、X-arm™側面にあるセレクトアスイッチの穴に付属のプラスチックポインター（プラスチック棒）を差し込み、LEDディスプレイに‘t’が表示されるまで押します。
5. リモコンを使ってX-arm™が壁と平行になるようにまっすぐにし、その後コントロールボックスのセットボタンを3秒間押します。X-arm™は定位置に戻るはずですが。
6. X-arm™のプラグを少なくとも10秒間は電源から抜き、その後もう一度電源プラグを差します。電源をオンにし、リモコンを使ってX-arm™を動かしてみます。それでもX-arm™が正常に作動しなければ、次のステップに進んでください。
7. X-arm™のプラグを電源から抜きます。
8. テレビを取り外して右の図を参照し、エラーメッセージに表示されているエリアをよく調べます。例えばLEDがA3を表示していれば、図のA3の枠のエリアを見てください。モーターと停止スイッチのワイヤー接続部がすべてしっかりと接続されているか確かめます。
9. コントロールボックスに通じるワイヤーがしっかりと接続されているか、調べてください。
10. 長いドライブねじに付着している物質や粒子をきれいに取り除いてください。
11. X-arm™のプラグを差して電源をオンにし、リモコンを使ってX-arm™を動かしてみてください。

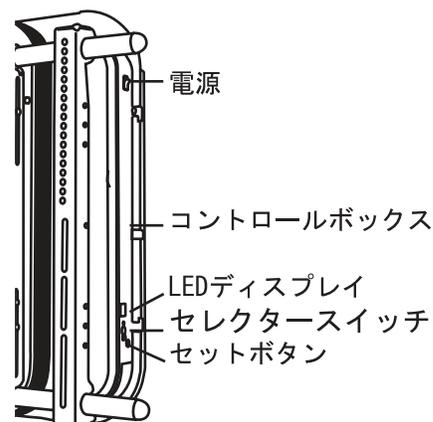


コントロールボックスに‘C1’ ‘C2’ ‘C3’ 又は ‘C4’ と表示されている場合

取り付けられているテレビ幅に対応するコードがX-arm™に、表示されているのが正常です。

1. 赤外線ケーブルがX-arm™の側面に差し込まれていることと、赤外線受光部がリモコンの照準線とにまっすぐに結ばれているか、確認してください。
2. コントロールボックス上にセットされているコード(記号)が、取り付けられたテレビ幅に対応する正しいコード(記号)であることを確かめてください。

コード	テレビ外幅
C1	= 102 -112 cm / 40" - 44"
C2	= 113 -122 cm / 45" - 48"
C3	= 123 -140 cm / 49" - 55"
C4	= 141 -155 cm / 56" - 61"



テレビ幅のコード(記号)が間違っていたら、正しいコード(記号)にセットし直してください。

2-1. 電源スイッチを‘1’ (オン)に入れてください。

2-2. テレビに取り付けられているサイドスピーカー等も含めた、テレビ全体の横幅で測ってください。テレビメーカーが使用する画面サイズは、画面の対角線の長さなので間違わないで下さい

2-3. 付属のプラスチック棒をセレクタースイッチの穴に挿入し、下の表を参照して、取り付けのテレビの幅に合ったテレビ幅のコード(C1~C4)が表示されるまでボタンを押してください。

コード	テレビ外幅
C1	= 102 -112 cm / 40" - 44"
C2	= 113 -122 cm / 45" - 48"
C3	= 123 -140 cm / 49" - 55"
C4	= 141 -155 cm / 56" - 61"

2-4. テレビ幅コード(記号)の点滅が止まるまで、セレクタースイッチの穴の下にある黒いゴム製のセットボタンを押し続けてください。

3. テレビとX-arm™が、壁や他の物に当たったり、引っかかかっていないか調べます。

4. X-arm™の電源プラグを差し、電源を入れて、リモコンを使ってX-arm™を動かしてみます。これで正常に作動したら次のステップには進まないで下さい。

5. X-arm™側面にあるセレクタースイッチの穴に付属のプラスチックポインター(プラスチック棒)を差し込み ‘t’ が表示されるまでボタンを押します。

6. リモコンを使ってX-arm™が壁と平行になるようにまっすぐにし、その後コントロールボックスの ‘SET’ ボタンを3秒間押します。X-arm™は定位置に戻るはずですが。

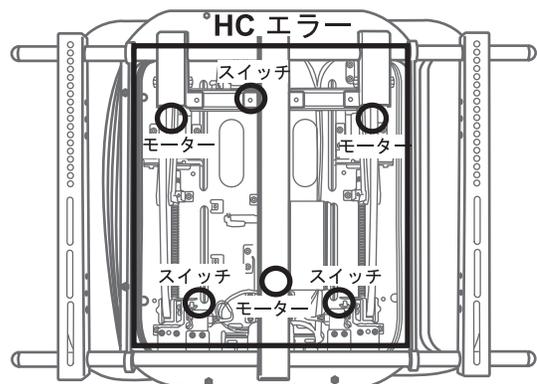
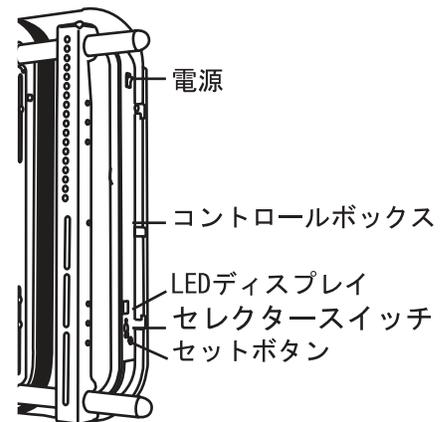
7. X-arm™の電源プラグを抜き、そしてもう一度プラグを差し直します。

“コントロールボックスに‘HC’と表示されている場合
考えられる原因:

- ・人や物がX-arm™の運動を妨げている。
- ・大きなねじの一つが汚れているか何かが付着している。
- ・連結部が何かに当たって擦れている。
- ・モーターケーブルがショートしている。

直し方:

1. X-arm™のプラグを少なくとも10秒間、電源から抜きます。
2. テレビとX-arm™が、壁や他の物に当たったり、引っかかっていないか調べます。
3. X-arm™の電源プラグを差し、電源を入れて、リモコンを使ってX-arm™を動かしてみます。これで正常に作動したらステップ4には進まないでください。
4. X-arm™の電源を入れた状態で、X-arm™側面にあるセレクタースイッチの穴に付属のプラスチックポインター(プラスチック棒)を差し込み、LEDディスプレイに‘t’が表示されるまで押します。
5. リモコンを使ってX-arm™が壁と平行になるようにまっすぐにし、その後コントロールボックスの‘SET’ボタンを3秒間押します。X-arm™は定位置に戻るはずですが。
6. 電源スイッチを‘0’ (オフ)にして下さい。
7. 電源スイッチを‘1’ (オン)に切り替える間、コントロールボックスのセットボタンを押したままにしてください。その後もディスプレイが“CT”を表示するまでは、セットボタンを5秒間押し続けます。
8. X-arm™が中と外、左右そして上下へと一連の調整を行う間は手をふれないで下さい。
9. X-arm™が調整を終えると、定位置に戻ります。
10. X-arm™の電源スイッチを入れ、X-arm™が正常に作動するかどうか試してみます。正常に作動しなければ、テレビをX-arm™から取り外して以下の点検をしてください。
11. 図で示されたエリア内のスイッチとモーターの中に異物が無いことを確認してください。
12. ワイヤー接続部がしっかりと接続されていることを確認し、大きなドライブねじの周りに付着している物質を、きれいに取り除いてください。
13. 図で示されたエリア内に故障が無いモーターを確認してください。
14. X-arm™のプラグを差しして電源をオンにし、リモコンを使ってX-arm™を動かしてみてください。



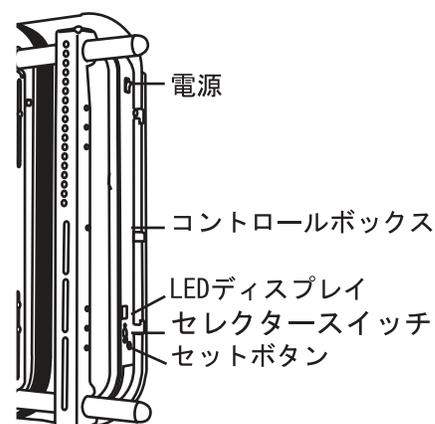
コントロールボックスに‘H1’ ‘H2’ 又は‘H3’ と表示されている場合
考えられる原因:

- ・ケーブルの接続が切れている。
- ・‘Stop’ スイッチに欠陥がある。
- ・いずれかのスイッチに汚れやごみがついている。

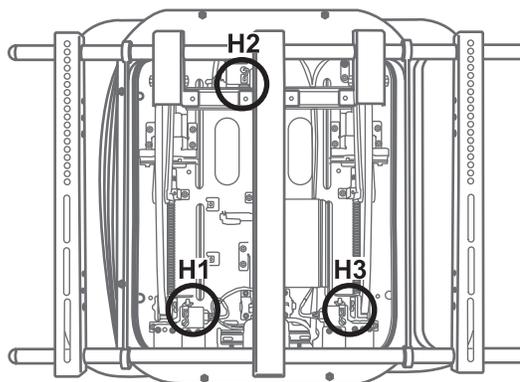
直し方:

1. X-arm™のプラグを電源から抜きます。
2. テレビとX-arm™が、壁や他の物に当たったり、引っかかかっていないか調べます。
3. X-arm™の電源プラグを差し、電源をオンにしたらリモコンを使ってX-arm™を動かしてみます。
4. コントロールボックスの電源スイッチを‘0’ (オフ) にしてください。

5. X-arm™の電源を入れた状態で、X-arm™側面にあるセレクト
ースイッチの穴に付属のプラスチックポインター(プラスチック
棒)を差し込み、LEDディスプレイに‘t’ が表示されるまで押し
ます。
6. リモコンを使ってX-arm™が壁と平行になるようにまっすぐに
し、その後コントロールボックスの‘SET’ ボタンを3秒間押し
ます。X-arm™は定位置に戻るはずです。
7. X-arm™のプラグを少なくとも10秒間は電源から抜き、その後
もう一度電源プラグを差します。電源をオンにし、リモコンを
使ってX-arm™を動かしてみます。それでもX-arm™が正常に
作動しなければ、次のステップに進んでください。



8. X-arm™のプラグを電源から抜きます。
9. テレビを取り外して右の図を参照し、エラーメッセ
ージに表示されているエリアをよく調べます。例え
ばLEDにH3と表示されていれば、(図)H3の丸
の中のエリアを見てください。モーターと停止ス
イッチのワイヤー接続部がすべてしっかりと接続さ
れているか確かめます。
10. 長いドライブねじに付着している物質や粒子をきれいに取り除いてください。
11. X-arm™のプラグを差して電源をオンにし、リモコ
ンを使ってX-arm™を動かしてみてください。



テレビがX-arm™に合わない(フィットしない)

1. テレビがX-arm™に対して大きすぎたり、重すぎたりしないかを確認してください。
適合するテレビの外幅: 102cmから155cmまで。
重量の制限: 81kgまで
2. テレビ裏側の取り付け用の穴の間隔が広すぎたり狭すぎる場合は、アダプターが必要になるかもしれません。

テレビが定位置より前に傾く(壁と平行にならない)

考えられる原因:

- ・テレビの重さが原因で、X-arm™が定位置より前傾する。

直し方:

1. リモコンのSEL-IN/OUTボタンを一度押して、X-arm™を定位置に動かしてください。
2. X-arm™側面のコントロールボックスにあるセレクタースイッチの穴に付属のプラスチックポインター(プラスチック棒)を差し込んで、ディスプレイがHPを表示するまで押してください。
3. リモコンの矢印キーを使って、X-arm™が壁と平行になる位置に合わせてください。
4. X-arm™側面のセットボタンを3秒間押します。
5. これでX-arm™は、'SEL-IN/OUT' ボタンを押すと、今、設定した定位置に戻ります。

メンテナンス

1. 年に1度はX-arm™からテレビを外し、コードが可動部分を邪魔していないか、確認してください。

保証について

CLOは、CLO製品の正常な使用状態において、製品の品質的又は技術的な欠陥が生じた場合、お買い上げの日から1年間、無料で保証いたします。CLOは、保証期間内、CLO独自の判断により、代金をお支払い済で、弊社に返品された製品について、無料で修理、部品交換をいたします。保障期間後は、認定された価格で修理させていただきます。CLOが認定する職員以外が、弊社が認可しない点検や修理を行った場合、この保証は無効となりCLOはそれ以上の責任や義務を一切負えません。X-arm™取付ブラケットは、最大重量81kgまで、テレビ全体の外幅155cmまでのテレビに使用されるよう造られています。この保証は、適切な梱包又は取り付けに関する指示を守らなかった場合、明記された規定の最大重量や最大横幅を超えるテレビを取り付けた場合、運搬中、また他の場所における事故、が原因となるいかなる損害にも適用されません。この保証は、その形式を問わず他のいかなる保証を超える権限を有します。他のいかなる者も、CLOの代理として、販売された製品に関して、上記に概説されている以外の責任を負う権限はありません。CLOセキュリティ装置で保護されている製品の盗難、取り付け作業の遅滞、作業の中断又は、他の理由による損害に対しては、弊社は一切の責任を負いません。

X-arm™に関する詳しい情報、最新情報は www.closystems.com のウェブサイトをご覧ください。

この保証は、お買い上げのレシートのコピーを提示しないと適用されません。

保証サービスを受けるには、お買い上げの日より30日以内に郵送にてお買い上げの商品を登録する必要があります。保証登録カードを記入し、領収書の原物を添えて郵送してください。

著作権 2007 年 CLO Systems 著作権所有 May 25, 2007